

高知県商工団体連合会 NO.1105(56-2)
〒780-8035 高知市河ノ瀬町33
TEL088-832-4838 FAX088-832-3126
Eメール kosyoren@citrus.ocn.ne.jp
ホームページ http://kosyoren.web.fc2.com/
このニュースはホームページでもご覧になれます

高商連ニュース

いのちと健康を守る学習交流会を開催 ＝南海大地震 あなたはどようする＝

6月9日(日)、高商連共済会(県共済会)は「いのちと健康を守る学習交流会」を開催しました。テーマは「南海大地震 あなたはどようする」。県下6民商から30人が参加しました。



森理事長のあいさつの後、(株)中村防災サービス様(高知市春野町)を講師に「非常食」の学習。非常食と災害食の違いなどを学び、アルファ米に水を注ぎ昼食の準備をしました。



石川県連井上局長

次に、石川県連・井上昭英事務局長に能登地震の被害状況、現在の状況等を話していただきました。大きな被害が出たのは

奥能登の3市3町です。人口は13万人。南海トラフ地震の規模は能登に比べ100倍近く、想定域には6000万人います。高知県は耐震工事など地震対策が進んでいると思いません。能登地域では耐震工事率が低い状況です。能登で地震があった場合の被害は死者7人、全壊の家屋が100数十棟程度の想定しかしていませんでした。ここ数年群発地震があったので、昨年3月に被害想定を見直しました。昨年の5月に珠洲市で震度5強の地震がありました。

能登地域には50人の民商会員がいました。発災当時はほとんどの会員が廃業すると言っていました。現在32名の方が事業を続けたいと言っています。しかし、現在事業を再開したのは10人程度です。

断水は8〜9割が解消したと報道されていますが、実態とかけ離れています。本管に水が通るようになれば「断水の解消」としてはいいですが、本管から家の

中まで管をつなぐのは住民がしなければなりません。蛇口をひねれば水が出る状態にどの程度なっているかは国は調べていないし、把握していません。市町村も把握していません。下水も本管は改修され

ていますが各家庭とはつながっていません。水が出たとしても、下水が使えないので「水は使われないでください」と言われます。生活できないので、いまだに一時避難所に1300人、1・5次、2次非難は13000人いる状況です。

こうした中でどう事業を再開するか。様々な制度はありますが使えないし、先行きが見えないので再開ができない事業者が多いです。

志賀原発は稼働していませんでしたが、原発事故が起きていたら、原発から北の住民は避難もできなかったでしょう。地震が頻発する日本に原発はあってはなりません。

【質問に答えて】
参加者・発災直後、「ボランティア来るな、国会議員も来るな」と言われていました。井上：道路が1本しか使えない状況だったので、緊急車両や救援車両を優先するため、ボランティアの受け入れは難しい状況だったと思います。

参加者：トイレの処理で困ったのではありませんか。井上：この問題は大きいですが、いまだにトイレが使えない家庭がたくさんあります。簡易トイレの確保は重要です。思っている以上に必要です。食料も大事ですが、食べると出さないと

いけませんから。能登地震は被災地域が狭く、救援物資も集中的に配分できなかったから、準備が十分でなかった状態でも、どうにかここまで来れました。さらに参加者から、「能登と高知の一つの共通点として、そこから先がない、行き止まりだ」という点があります。そうした点からも、能登の復興の進捗状況を注視する必要があります。これは「という問題提起もありました。」

次に、「NPO法人防災士会高知」の方から、防災の基礎知識のお話がありました。



防災士会高知の出前講座

南海トラフ地震の規模や地震対策・対応の基礎の話があり、「被害をゼロにすることはできませんが、備えることで被害を少しでも小さくできます。一人ひとりの備えと地域の絆が重要です」「平時に準備しておく。平時にやらないことは災害時には

きない。平時に備えていないものは災害時には入手できない」「いい話を聞いたではなく、やらなきゃ始まりません。今日から、明日からすぐ始めてほしい」と強調されました。昼食は、午前中に準備した非常食を試食しました。「思ったよりおいしい」「日常使い出来そう」「パン(保存期間5年)がとってもおおいしかった」など、初めて食べた人も絶賛していました。早速大量に購入する人もいました。久々の「いのちと健康を守る学習交流会」でしたが、今後は、毎年開催していきたいものです。

高知県母親大会

7月28日(日) ソーレ(高知市旭町)
分科会 9:30~12:30
全大会 13:30~16:00
記念公演『教育と愛国』から見えてくる世界は
～子どもたちに平和な未来を手渡したい～
講師 齊加尚代さん
(毎日放送プロデューサー・映画「教育と愛国」監督)
参加費 800円(参加券は民商事務局あります)
■県婦協(高商連婦人部)は税金の分科会を担当・開催します。是非ご参加ください。

全商連共済会総会(6/29・30)にむけて、共済加入者の拡大をすすめています。加入がまだの方、ぜひ加入しましょう。会員、同居家族、従業員が加入できます。会費は1人・月1000円です。